

増加するキャンペーン需要に適応するため、 可変情報ラベルの全数検査を可能に



株式会社 ヨネヤマシール印刷

📍 新潟県三条市西大崎2-25-25

☎ 0256-38-0011

🌐 <http://www.y-s-p.co.jp/>

■ 印刷・同関連業



会社WEBサイト

私たちについて

技術力と総合力で シール印刷のワンストップ

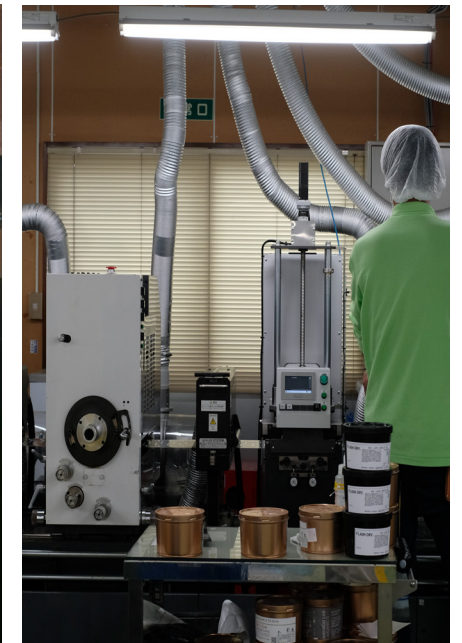
1973年にシール印刷というニッチ市場で創業。食品や医療、化粧品などのラベルシールを手掛けてきた。化粧品メーカーからの厳しい色味への要求や、複雑なシールラベルの加工などにワンストップで応え続けたことでノウハウを蓄積。現在の顧客の7割は首都圏で、メーカーから広告代理店まで幅広く請け負っている。近年、特に力を入れている分野は、バーコードやQRコードなどの可変情報ラベルの印刷。可変情報ラベルはキャンペーンの増加で需要は高まっているが、中小ロットで受注できる印刷業者は少ないことから、受注が増えている。



きっかけ

キャンペーンで使用するラベルの 検査体制を整えたい

懸賞キャンペーンなどでQRコードを読み込み、アンケートに回答してもらうことでデータを収集、消費者属性を分析する手法が広く使われている。特に食品や医薬品、化粧品分野を筆頭にラベルに対する品質の要求は年々高まっている。そこで、ヨネヤマシール印刷も2008年に個別情報を印字できるラベル印刷機を独自に



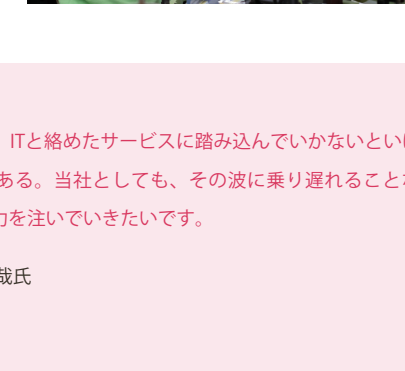
開発。キャンペーンで使われる可変情報ラベルの印刷が可能となった。ただし、一枚一枚内容が異なる可変情報ラベルは、印刷内容を検査する手段がなく、一部をサンプリング検査するしかなかった。しかし、クライアントからはラベルの品質保証のために全量検査を求める声も強かった。今後も可変情報ラベルの活用ニーズが拡大する中で検査体制の刷新が急務とされていた。



取組の内容

可変情報ラベルの 全数検査が可能に！

通常のラベルを検査する場合は、印刷の元データを見本としてカメラですべてのラベルを照合し、エラーをチェックしていた。



message

印刷業界全体として、ITと絡めたサービスに踏み込んでいかないといいない状況になりつつある。当社としても、その波に乗り遅れることなく、データの活用に関心を注いでいきたいです。

代表取締役 米山 智哉氏

その後の展開

データを活用し、 販路開拓まで提案できる会社に

今後は印刷物をつくるだけでなく、集めたデータをもとに顧客に提案まで行いたいと考えている。消費者がQRコードを読み込み、住所や氏名などを入力して応募すると、サーバーに情報が入ってくる仕組みだ。こうして集めた情報をもとに懸賞品の発送などを行うが、プロモーションの仕方やデータの活用方法の提案など広告代理店の役割も果たしていきたいと考える。

新規顧客獲得の機会である展示会では、可変情報を扱うラベルとキャンペーン施策への反応が良い。ベースは製造業なので製造工程は怠らず、データを活用した新たな顧客開拓にも取り組んでいく。

